

# 日高軽種馬協会のたより

**HBA**

日高軽種馬農業協同組合

☎0146-22-2258 FAX 22-3452

令和6年8月15日

第 **408** 号



セレクションセール最高落札馬：スターズアラインド2023

取引価格：1億1,000万円

販売申込者：(有)笠松牧場

## 〈主な内容〉

- セレクションセールを振り返って……………2ページ
- 生産地懇談会について……………3ページ
- JBBA 獣医師紹介……………4～5ページ
- 理事会の内容について……………5ページ
- ひだか・ホース・フレンズたより……………6ページ
- 馬獣医のよもやま話……………7ページ
- 馬鼻肺炎による流産発生等の連絡について……………8ページ

## セレクションセール開催

### 23年ぶり誕生1億円落札馬はじめ上場馬多数取引される

今年のセレクションセールは初めて7月22日(月)～7月24日(水)までの3日間にて行われた。1歳市場のプライスリーダーと位置づけられるセレクションセール初日を飾ったのは今年初めて設けられたプレミアムセッション。選抜された上場馬の中で、より厳選された140頭がカタログに記載され、2日目の23日は180頭、3日目の24日は179頭、全体の合計は501頭だった。購買登録者数は昨年のセレクションセールを上回る1,034名、内オンライン登録者数は55名だった。

開催に先立って古川組合長は、「本日は多数のご購買登録、ご来場いただきまして、まことにありがとうございます。さて、今年のセレクションセールは、800頭以上の上場申込の中から500頭に厳選いたしました馬を上場することになり、去年より多い3日間開催となりました。そのなかでも140頭を厳選いたしましてプレミアムセッションとして本日上場いたします。2日目、3日目も好素質馬が揃っておりますので、活発なご購入、お声がけをよろしくお願いいたします。なお、昨年の夏の猛暑を受けまして館内に空調設備を整えましたので、快適なせりをお楽しみいただきたいと思います。」と挨拶。その後、2019年の北海道市場サマーセール取引馬で、2023年のJBCスプリント(Jpn1)を制覇したイグナイター号(門別・春木ファーム)を所有する野田善己氏と管理する新子雅司調教師には栄誉を称えるトロフィーが贈られた。

セールのトップバッター上場番号1番ノースパストラル2023(牡、荻伏・(有)高昭牧場)は父キズナ、重賞勝ち馬メイショウムラクモの半弟という良血からスタートし、上場番号24番テオレマ2023(牡、荻伏・(有)笠松牧場)が8,580万円で取引された。本馬の父は1歳が初年度産駒のコントレイル、母はJBCレディスクラシック(Jpn1)を含む重賞3勝の初子。そのテオレマ2023の母テオレマの半弟でもある上場番号49番スターズアラインド2023(牡、荻伏・(有)笠松牧場)が1億1,000万円で取引され最高価格馬となった。父はキズナで芝ダート距離を問わずに活躍馬を輩出し続けているリーディングサイアー。同セールでの1億円超えの落札は2001年に1億7850万円の値がついた父サンデーサイレンス、母プレシャスキールの牡馬以来23年ぶりとなった。他にも上場番号107番のエスマラクル2023(牡、静内・(有)グランド牧場)が9,240万円で取引された。父は1歳が初年度産駒のフィレンツェファイアで、2代母にチャンピオンズC(G1)などを勝っているサンピスタがいる血統。上場番号256番レインオンザデューン2023、父オルフェーブル(牝、静内・(有)飛野牧場)が8,800万円で取引され、本セールの牝馬最高価格馬となった。本場の半兄にあたるキングスクールは7月21日札幌5R・2歳新馬戦(芝1800メートル)で同舞台の2歳レコードで勝利していた。

初日のプレミアムセッションの総売上金額は35億9,260万円、平均価格は2,828万8,189円、94.78%だった。3日間での総売上金額は79億1,736万円、平均価格1,921万6,893円、売却率85.12%(価格は税込)



# 令和6年度日高地区生産地懇談会開催

JRA日本中央競馬会並びにJBBA（社）日本軽種馬協会主催の日高地区生産地懇談会が、7月25日(木)午後1時30分より静内エクリプスホテルで開催された。

懇談会には、JRA、JBBA、JAIRS、日高軽種馬農協、各地区振興会、青年部など関係者約70名が出席。冒頭、JRA菊田理事より、「本日は、セレクションセール翌日のご多忙中のなかご出席頂きお礼申し上げます。昨年から課題となっていたせり会場の冷房設備が整備され、セレクションセールについては、全体的に非常に活気のあるせりとなりました。

最近では日本から世界一の活躍馬が生まれるなかで、海外からは日本の競馬を手本にしたいと言われるようになり、ひとえに皆様のご努力のもと生産育成のサイクルが綺麗に回っていることと感謝申し上げます。本日は、いろいろな課題など皆さんとお話をさせて頂き、競馬界が進歩して行けるよう取り組んで参りたいと思います。宜しくお願ひ致します。」と挨拶を頂いた。



【挨拶するJRA菊田理事】

続いて、JBBA上野副会長より、「現在JBBAではJRAより手術担当の獣医師が出向し、HBAの二次診療のお手伝いと、JBBA新人獣医師については、一次診療をHBAで勉強させてもらう等の活動を行っております。今後ともHBAの診療事業を積極的に支援して参りたいと思いますので、宜しくお願ひします。」との挨拶があった。【関連記事5～6頁記載】

古川組合長の挨拶に続き、JRAから近年の外国産馬出走状況の報告並びに人材確保に向けた取組みについての報告が行われ、JBBAより競走馬生産振興事業など事業内容についての報告が行われた。

主要要望事項については、以下の通り。今後、全国各地で開催の生産地懇談会の意見をまとめ、生産等に関する協議会（JRA）、地方競馬と生産に関する協議会（NAR）にて協議が行われる。

- ◇生産者賞について、日頃のお礼並びに今後とも競馬の売上状況を見ながらとなるが、引き続き手厚い対応をお願いしたい。また、生産者賞の支払いについて、早めの交付をお願いしたい。
- ◇2024年問題における馬輸送（特に札幌・函館）の現状について聞きたい。
- ◇2歳戦の早い時期の新馬戦や条件戦について、ダートのレースを増やしてほしい。
- ◇獣医師不足、装蹄師不足の解消に努めてほしい。
- ◇JBBA、BTCの研修事業について、研修生の増員に努めてほしい。
- ◇優良繁殖牝馬導入助成事業について、海外から輸入する際の輸送費の助成についてお願いしたい。  
海外の繁殖セールで上がり馬、空胎馬を購入し、翌年海外で種付けをして日本に輸入する際、助成の対象として頂きたい。
- ◇馴致助成事業について、飼養費の高騰、高齢化の問題もあるので継続して頂きたい。
- ◇基盤整備事業について、解体費用の助成の検討をお願いしたい。面積要件、担い手要件で対象とならない生産者についても、助成範囲の拡大をお願いしたい。
- ◇近年、局地的な風水害等、災害の発生が増えており、激甚災害に至らない場合においても、牧場敷地、施設等の復旧について、競走馬生産振興事業等の費用支援が得られるよう検討願ひたい。

J B B A日本軽種馬協会では、軽種馬医療を支援するための取り組みの一環として、当組合の診療事業について、J B B A獣医師のご協力を頂いております。先般、7月25日の生産地懇談会において、J B B A上野副会長のご挨拶のなかで、J B B A獣医師職員の紹介がございました。下記の通り紹介します。（寄稿：J B B A）

## JBBA日本軽種馬協会の日高地区における軽種馬医療に対する取り組み

J B B A日本軽種馬協会では日高地区の軽種馬医療を支援するためにさまざまな取り組みを行っており、そのひとつとしてH B Aが実施する往診や手術等の一次および二次診療に対するJ B B A獣医師の参加があります。昨年からの取り組みを順次始めていますので、この誌面をお借りして3名の獣医師を紹介いたします。

### 増井一真（ますい かずま）（26歳）



東京都出身 2023年J B B A入会（帯広畜産大学卒業）

趣味: サッカー観戦（特にJリーグ）

私は動物とスポーツが小さい頃から大好きで、学生時代に馬術、そして競馬に出会いました。コロナ禍に開催された2020年のジャパンカップをきっかけに、自分自身も競馬を支える立場になりたいと意識するようになり、昨年J B B Aに入会いたしました。本年4月からは、H B Aの先生方の下で馬獣医療を勉強させていただいております。もし牧場で見かけた際には声をかけてくださると嬉しいです。よろしくお願いいたします。

### 永田舜（ながた しゅん）（29歳）



愛知県出身 2024年J B B A入会（宮崎大学卒業）

趣味: プラモデル作り

私は大学入学後に競馬に出会い、血統の面白さを知るとともに生産地で働く馬の獣医師になりたいと考えJ B B Aに入会いたしました。7月からはH B Aの先生方の往診に同行し勉強をさせていただいております。右も左も分からない新人ですが、生産地の皆様から暖かい言葉をかけていただき充実した日々を送っております。皆様のお力になれる一人前の獣医師を目指して精進して参りますのでどうぞよろしくお願いいたします。

## 関一洋（せき かずひろ）（49歳）



千葉県出身 2000年 J R A 入会（北里大学卒業）

趣味：カメラ

昨年3月に J B B A 軽種馬生産技術総合研修センターに出向して参りました。J R A では美浦・栗東トレセン診療所に通算15年、研究所（栃木、常磐、日高育成牧場研究室）に8年いました。得意分野は疝痛の開腹手術です。現在、H B A 獣医師とともに週に1～2件の手術を行っています。

日高の馬医療に少しでも貢献できるよう精一杯頑張りますのでよろしくお願いいたします。



執刀中の関一洋獣医師



麻酔を担当する増井一真獣医師

これからも J B B A は、地域の馬医療のサポートに積極的に取り組んでまいります。

## 理事会の内容について

【第7回理事会】 ◇令和6年度8月9日

13時30分 静内支所

〈報告事項〉

1. モンゴル農業大学との研究受入に係る調印式の内容について
  2. 第4回、第5回市場委員会の内容について
  3. 第1回振興会長会議の内容について
  4. （一社）北海道軽種馬振興公社第1回理事会の内容について
  5. 日高軽種馬振興対策推進協議会令和6年度定期総会の内容について
  6. 日本軽種馬協会第3回理事会の内容について
  7. 軽種馬海外流通促進事業会議の内容について
  8. 第5回総務・診療委員会の内容について
  9. 人事異動の内容について
- 〈議案〉
1. 中間監査の内容について





## ひだか・ホース・フレンズ たより

前回掲載（404号/3月1日発行）以後、7月末現在の研修受け入れ状況についてお知らせします。

2月	20代女性・大学生（2名組）	体験11日間	
3月	10代女性・アルバイト	体験 8日間	
	20代女性・専門学校生	体験 9日間	
4月	30代男性・団体職員	就職希望 就活23日間	
		（→6月生産牧場就職）	
	20代男性・大学生	就職希望 就活23日間	
5月	40代女性・看護師	就職希望 就活30日間	
6月	40代男性・警備員	体験5日間	
	30代男性・ITフリーランス	体験5日間	
7月	40代男性・会社員	体験5日間	
	50代女性・看護師	20代女性・専門学校生（親子）	体験4日間

今後の受け入れ予定

8月	10代男性・高校生	体験5日間	20代男性・大学生	体験3日間
9月	10代男性・高校生	体験8日間		
10月	30代男性・会社員	体験5日間		

研修の流れ

申込書提出・日程調整・ZOOM面談

初日 滞在寮到着・オリエンテーション・見学

2日目以降 放牧・馬房掃除・飼葉づくり・環境整備・  
集牧・手入れ・飼葉つけ

最終日 朝放牧・在寮清掃・修了時ヒアリング



2021年4月運営開始から7月末まで実参加者54名の参加があり、進路を断念した方もおりましたが、現在馬産業に定着している修了生は推計10名という状況です。これまでの参加者の中には学生や転職準備中の方もおり、終了時ヒアリングにおいても意欲が高い方が多く、今後この方々が就職に向けた再参加やインターンシップ参加が期待されます。

BOKUJOBメインフェア

6月1日～2日東京競馬場で開催されたBOKUJOBメインフェアへ出展しました。ブースには10代～40代の学生や社会人など15名の方が訪れ、体験研修や転職に向けた相談について面談を行いました。面談後に研修参加し年内の牧場就職を目指すケースもありました。

お問い合わせは 日高軽種馬農協 業務部 0146-42-1200までお願いいたします。

## 蕁麻疹への対処法

門別診療所 三浦耀平

8月も半分が過ぎ、日々暑さも増してきました。サマーセールが近づいて参りましたが、それが終わっても、まだセリの開催は続きます。夏～秋にかけてのせり期間では皮膚病の診療がよく入ります。今回はその中でも蕁麻疹についてお話をさせて頂こうかと思えます。

蕁麻疹とは「指で圧迫すると凹むような発疹が、体全体もしくは局所的に皮膚に現れた状態」の事を言います。(写真1)一言に蕁麻疹といっても、その原因は多岐に渡ります。乾草中のカビや厩舎内の埃、放牧地の牧草や虫といった環境性のものから、抗生剤や鎮静剤といった薬品でなることもあります。今述べたものは発症に至る過程で、免疫の過剰応答(アレルギー反応)が関与していますが、免疫が関与しない日光や気温、圧迫といった物理的な刺激で発症する可能性もあるようです。幸いにも蕁麻疹は痒みによる自傷や脱毛、感染などが起きなければ大きな問題にはならず、特に治療せずとも自然に発疹が引く事が多いです。ですが、自然におさまらない時や、繰り返し発症する馬には何かしらの対策を考える必要があります。



写真1

対処法として原因を取り除くことが理想的ではありますが、特定は簡単ではありません。見ただけからの原因判定は難しく、報告されている様々な検査法でも、多くの候補があがり、どれが一番の要因かが不明瞭になりがちです。よって対策を講じる際は、検査の手間をかけずに試行錯誤されるのが一般的です。例えば、乾草中のカビが疑われる場合は、乾草の種類を変更したり、温水に浸してから給餌してみる等があります。畜舎の埃が疑われる場合は、その馬を風通しの良い馬房に移動させたりしても良いでしょう。中には、放牧地の牧草や虫のように除去の難しい原因が疑われる場合があるかと思われます。それでも今時期、セリへの上場が予定されている馬などについては、出来るだけ早めに発疹を引かせたいものです。このような場合、対症療法として、ステロイド剤や抗ヒスタミン剤(写真2)といった薬が有効です。これらの薬は口から投与できる錠剤タイプの物もあるので獣医を呼ばなくても牧場で対応することが可能です。ただし、用法用量に関する事や呼吸器障害などの蕁麻疹以外のアレルギー症状が出ている場合は、使用前に獣医師に相談する事をお勧めします。服用を止めると蕁麻疹が再発することも多いので、あくまでこれらの薬は応急処置であると認識しておく事が重要です。虫への対策は過去にHBAの先生がよもやま話「馬の虫刺されによる過敏症」でも紹介なされているので、それも参考にして頂けたらと思います。

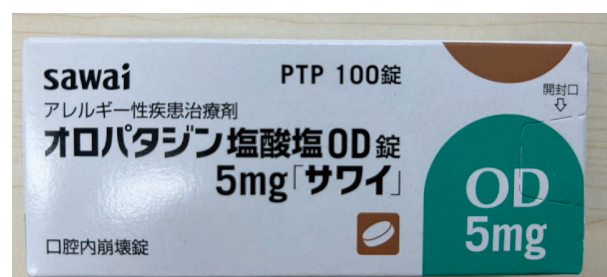



写真2

## 馬鼻肺炎による流産発生等の連絡について

日高管内で馬鼻肺炎による流産や生後直死等が発生した場合には、各町の軽種馬生産振興会を通じて、文書で組合員の皆様にお知らせしておりましたが、日高家畜保健衛生所のホームページに発生情報が随時掲載されておりますので、今後はそちらをご参照ください。

日高家畜保健衛生所ホームページ

<https://www.hidaka.pref.hokkaido.lg.jp/ds/khe/>



The screenshot shows the homepage of the Hidaka Livestock Health Center. The main content area features a blue header with the center's name, followed by a 'お知らせ' (Notice) section. A prominent notice states that from April 2022, the BSE inspection target areas for dead cattle have changed. Below this, there is a section titled '馬鼻肺炎発生情報 (R6シーズン)' (Equine Pneumonia Occurrence Information (R6 Season)), which lists several cases with details such as location, date, and outcome (e.g., 'R6.4.2 新ひだか町1戸1頭 (生後直死)'). A right-hand sidebar contains a '日高家畜保健衛生所メニュー' (Hidaka Livestock Health Center Menu) with links to '注目情報', '伝染病などの情報', '発表・広報など', '手数料一覧・申請書様式', '各検査日程', '業務内容', and 'アクセス'. A 'PAGE TOP' button is visible in the bottom right corner of the browser window.

## 家畜共済加入馬(HBA診療分)支払共済金の直接払いについて

HBA獣医師が診療した家畜共済加入馬の支払共済金につきましては、北海道農業共済組合(NOSAI北海道)からの直接払いに変更となりました。詳細につきましては、お近くのNOSAIまたはHBA本支所へお問い合わせください。